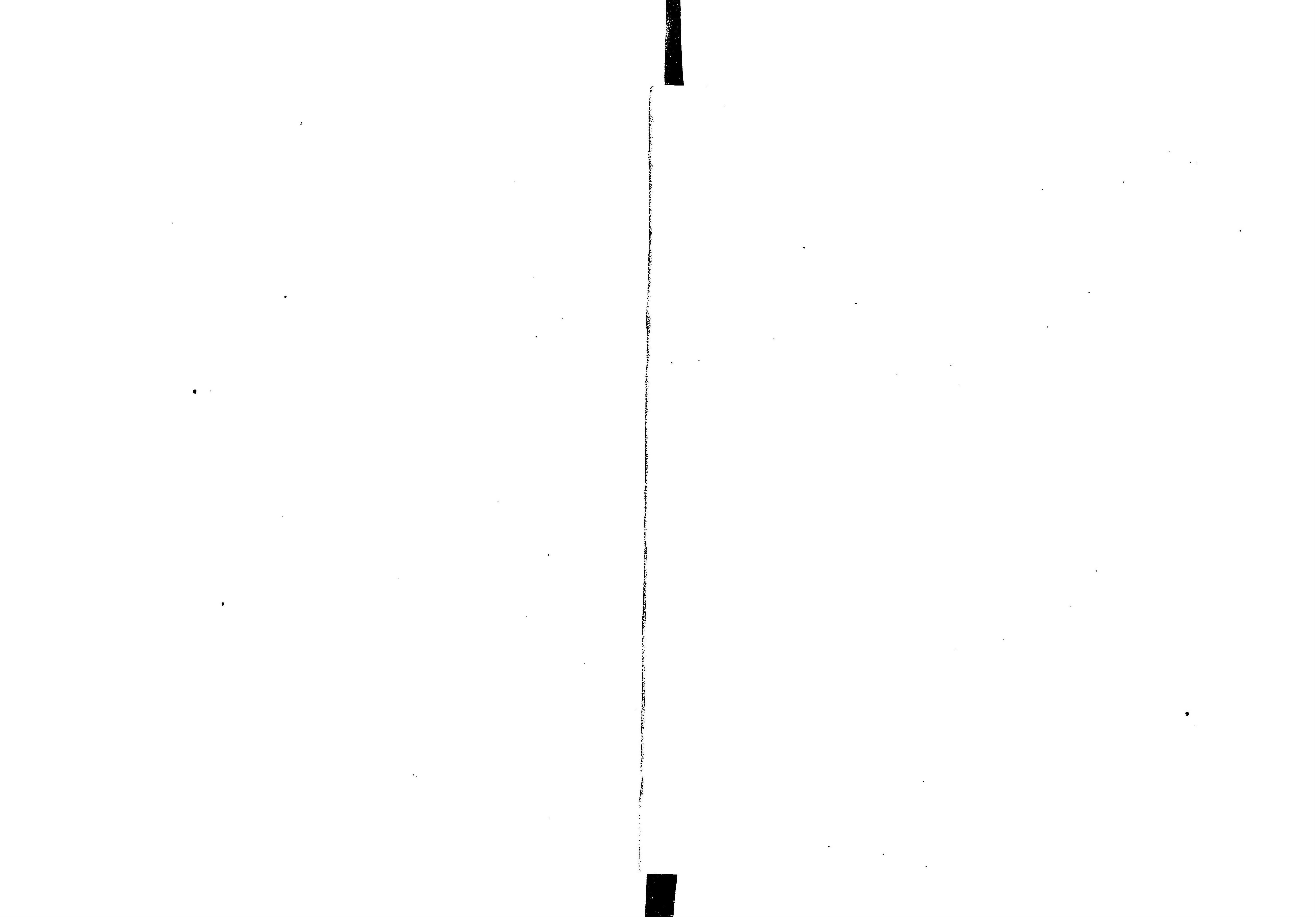


水上泰健編輯

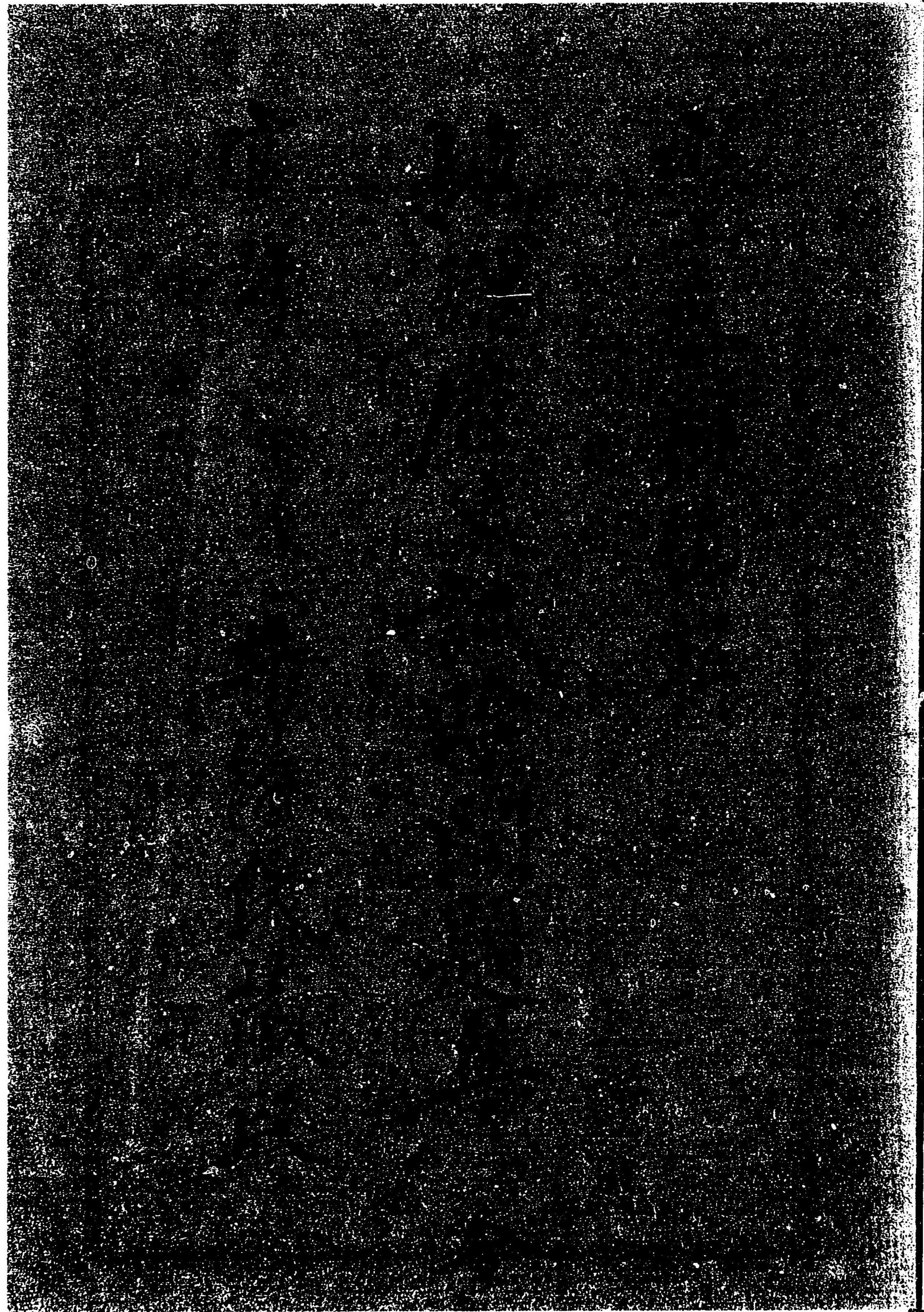
地理歷史試驗問題集 全

官許

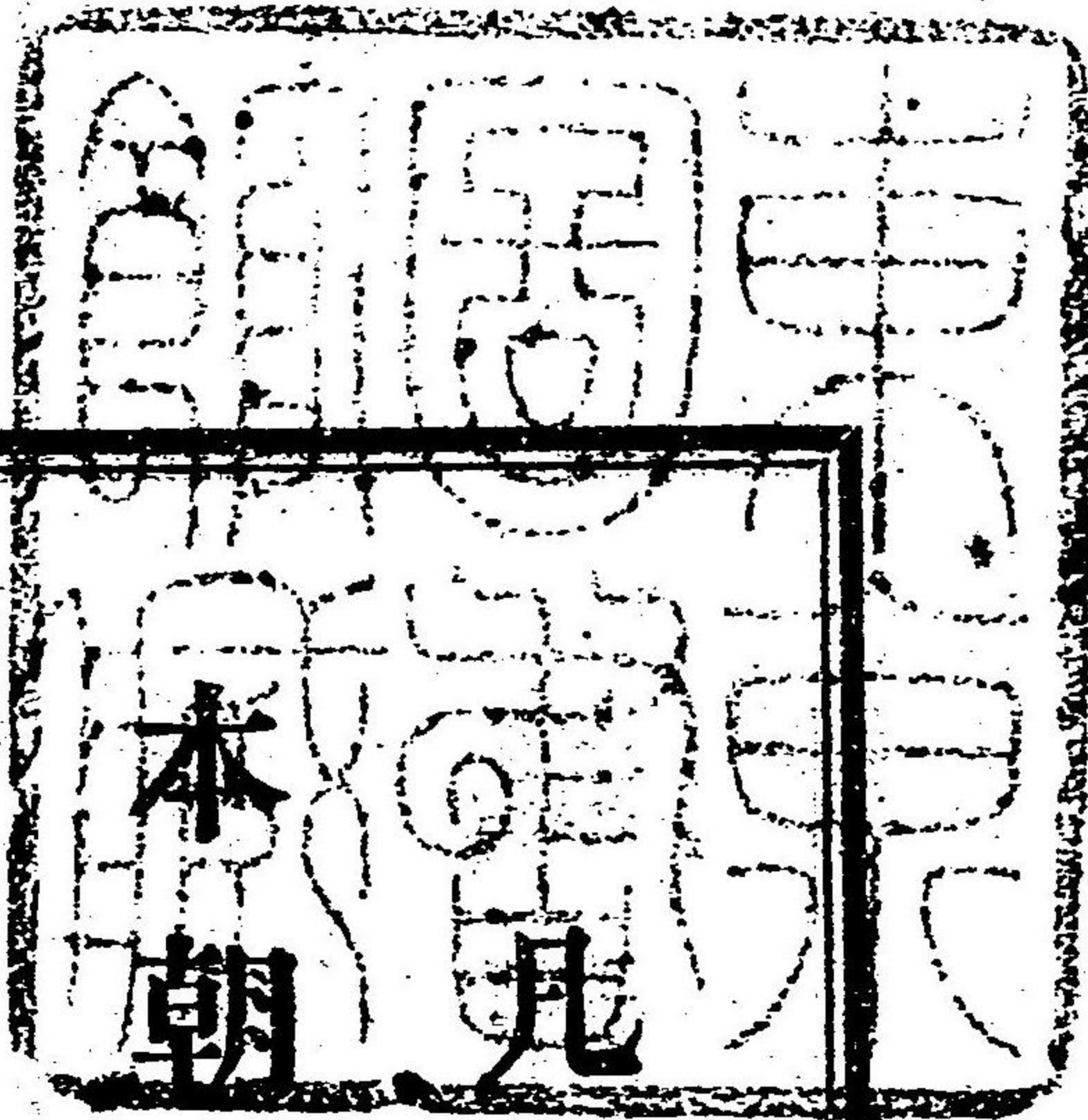
井筒氏藏版











例

歴史ノ科タルヤ上神代

ヨリ下近世ニ及ヒ殆二千五

百有餘年其間制度ノ沿革武

門ノ變亂等勝テ數ヲ可ラス

初學或ハ書ニ對シ茫洋迷津

本朝  
凡例

本朝  
凡例

本朝  
凡例



ノ歎ナキ能ハズ今乃國史略  
等ニ基キ其稍著大ナル事蹟  
ヲ探摘シ之ヲ問題トシ初學  
者ヲシテ自ラ諳記シ易カラ  
シム  
地理ノ學ハ專ラ地圖ニ因テ

教授スベシト雖其著名ナル  
事ニ至テハ問題ニ就キ生徒  
ヲシ暗記セシム則チ高山大  
川都邑物産等都テ屈指ノ者  
ヲ撰ビ旁ラ答釋ヲ附シ覽者  
ノ便ニ供ス殊ニ物産ノ如キ



ハ諸國出ス所數多ナルヲ以  
テ悉記載スル能ハズ故ニ先  
其主眼ナル者ヲ摘出シ其他  
ハ省略ニ從フ  
地理中縣名ヲ載セサル者ハ  
其ノ時々廢置アリテ一定ス

ル能ハザルヲ以テナリ

明治十七年八月

編者識



地理歴史試験問題集

水上泰健 編輯

日本地理問題并答

日本三景ヲ舉ヨ

陸前ノ松嶋、丹後ノ天橋立、安藝ノ嚴島、

三高山ヲ舉ヨ

駿河ノ富士山、加賀ノ白山、越中ノ立山、

三大川ヲ舉ヨ

利根川、信濃川、北上川、

三急流ヲ舉ヨ

駿河ノ富士川、羽前ノ最上川、肥後ノ玖摩川、



三府ヲ問フ

東京府、大阪府、京都府、

五港ヲ舉グ

神奈川、神戸、長崎、新潟、箱館、

本邦第一ノ大湖及湖中著名ノ嶋嶼ヲ問フ

琵琶湖、竹生嶋、

東海道中海無キ國ヲ舉グ

伊賀國、甲斐國、

東海道中半嶋ノ國名ヲ舉グ

伊豆國、上總安房ヲ合シ半嶋トス

北陸道半嶋國ハ如何

能登國

北陸道七大河ヲ舉グ

安居川、手取川、射水川、神通川、

常願寺川、黒部川、信濃川、

東山道第一ノ都邑ヲ問フ

陸前ノ仙臺

中國第一ノ都會ハ何處ソ

安藝ノ廣嶋

北國最大ナル都會ノ地ヲ問フ

加州ノ金澤

日本ノ島國ヲ舉グ



佐渡、隱岐、壹岐、對馬、

四國第一ノ大川及都邑ヲ記セ

吉野川、阿波、徳島、

山陰道第一ノ高山及大川ヲ記セ

伯耆、大山、石見、郷、川、

北海道ノ五大河ヲ舉ヨ

石狩川、天鹽川、久摺川、十勝川、後志川、

筑紫第一ノ大川ヲ問フ

筑後川、即筑紫三郎ト稱ス

中國ノ海無キ國ヲ舉ヨ

丹波國、美作國、

四國ノ主山ヲ問フ

伊豫ノ石鎚山

山陽南海二道ノ間ニアル灘ヲ舉ヨ

播磨灘、水島灘、琉黄灘、燧灘、

三陸第一ノ大川ヲ問フ

北上川

北海道物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

鮭魚、鱒、昆布、

東海道中殆ント山岳無キ國ハ何處ソ

下總國

羽州ノ三大川ヲ舉ヨ



最上川、御物川、能代川、東山道中最小國及最大國ヲ問フ

飛驒國、信濃國、

噴火山ノ著名ナル者ヲ舉ヨ

信濃、淺間山、肥後、阿蘇山、

物産ノ著名ナル者ヲ舉ヨ

米、生絲、茶、金銀、陶器、漆器、紙等、

○五畿内

○山城、高山及大川ヲ舉ヨ

愛宕山、比叡山、淀川、宇治川、木津川、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

京都、伏見、淀、宇治、

同國名勝ノ地ヲ舉ヨ

東山、圓山、清水、西山、嵐山、嵯峨、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

白川石、宇治茶、西陣織、清水焼、

○大和ノ高山及大川ヲ舉ヨ

吉野山、葛城山、吉野川、十津川、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

奈良、郡山、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

奈良晒、吉野紙、吉野葛、及墨、



○河内ノ大岳及大川ヲ問フ  
 金剛山、吉野川、  
 同國物産ノ著名ナル者ヲ舉ゴ  
 河内木綿、道明寺糶、  
 ○和泉北境ノ大川及繁盛ナル港ヲ問フ、  
 大和川、堺ノ港、  
 同國物産ノ有名ナル者ヲ舉ゴ  
 鐵器、木綿、  
 ○攝津ノ高山及大川ヲ舉ゴ  
 摩耶山、武庫山、淀川、池田川、  
 同國有名ナル温泉及瀑布ヲ問フ

有馬温泉、布引ノ瀧、  
 同國濱浦ノ著ル、者ヲ舉ゴ  
 住吉浦、須磨浦、武庫海、  
 同國ノ都邑ヲ舉ゴ  
 大坂、神戸、兵庫、尼ヶ崎、  
 同國物産ノ主ナル者ヲ舉ゴ  
 御影石、池田炭、伊丹酒、  
 ○東海道  
 ○伊賀ノ都邑ヲ問フ  
 上野  
 同國産物ノ主ナル者ハ如何



伊賀燒、石炭、松茸、

○伊勢志摩ニ跨ル大山ヲ問フ

朝熊山

伊勢國ハ何處ヨリ南北ニ區別スルヤ

雲津川ヲ界トス

南伊勢ノ二大川ヲ舉ゴ

櫛田川、宮川、

内宮及外宮ノ所在地ヲ記セヨ

内宮ハ宇治、外宮ハ山田、

同國ノ都邑ヲ舉ゴ

津、四日市、桑名、山田、

同國著名ナル産物ヲ舉ゴ

萬古燒、染形紙、時雨蛤、

○志摩ノ良港及南岬ヲ問フ

鳥羽港、麥崎、

同國ノ物産ヲ舉ゴ

魚介、海藻ノ類ノミ

○尾張ノ海中ニ突出シタル郡名及岬角ヲ問フ

知多郡、幡豆崎、

同國ノ都邑ヲ舉ゴ

名古屋、熱田、宮ノ驛トモ云

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ゴ



瀬戸焼、名古屋扇、鳴海絞、大根、

○三河ノ三大川ヲ舉ヨ

矢矧川、豊川、大平川、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

岡崎、豊橋、

同國海ノ大山及岬角ヲ問フ

煙巖山、本宮山、伊良胡崎、

同國ノ有名ナル物産ヲ舉ヨ

御影石、茶、

○遠江ノ廣野及湖ヲ問フ

三方原、濱名湖、

天龍川ハ何處ヨリ發源シ何洋ニ注クヤ

信州諏訪湖ヨリ發シ遠江灘ニ入ル

同國ノ都邑及岬角ヲ問フ

濱松、御前崎、

駿遠兩國ノ界川及遠州ノ大山ヲ問フ

大井川、秋葉山、

遠江ノ物産ヲ舉ヨ

材木、茶、納豆、

○駿河ノ高山及大川ヲ舉ヨ

富士山、富士川、安倍川、

同國ノ繁盛ナル都邑ヲ舉ヨ



静岡、沼津、

同國ノ主ナル物産ヲ舉ヨ

駿河半紙、竹器、安倍茶、

○甲斐ノ高山及大川ヲ舉ヨ

金峯山、八カ岳、白根山、笛吹川、釜無川、

同國ノ都邑及湖水ヲ舉ヨ

甲府、川口、湖、山中、湖、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

雨畑硯、海氣絹、果物類、

○伊豆ノ太山及港ヲ問フ

天城山、下田、港、

同國ノ温泉及岬角ヲ問フ

熱海ノ温泉、石廊崎、

同國ノ七嶋ヲ舉ヨ

大嶋、利嶋、新嶋、式根島、神津島、

三宅島、三倉島、

同國ノ主ナル物産ヲ舉ヨ

石材、木材、雁皮紙、椎茸、

八丈島著名ノ産物ハ何ツ

八丈絹

小笠原島ヲ檢出セシハ誰ゾ其區別ヲ問フ

小笠原、貞頼、父島、母島ニ分ツ



○相模ノ高山及大川ヲ舉ヨ

雨降山、足柄山、箱根山、馬入川、酒匂川、

同國著名ノ都邑ヲ舉ヨ

小田原、鎌倉、横須賀、江ノ島、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

湯本細工、根府川石、貝細工、梅干、

同國ノ岬角及湖水ヲ問フ

觀音崎、三崎、蘆ノ湖、

箱根ノ七湯ヲ舉ヨ

湯本、塔澤、宮下、堂カ島、底倉、木賀、

蘆湯、

○武藏ノ山川ノ著名ナル者ヲ舉ヨ

秩父山、武甲山、荒川、多摩川、

同國有名ナル都邑ヲ舉ヨ

東京、横濱、八王子、川越、熊谷、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

秩父絹、淺草海苔、錦繪、

○安房上總ニ跨ル高山及安房南端ノ岬ヲ問フ

鋸山、野嶋崎、

安房ノ物産ノ主ナル者ハ何ソ

魚類、房州砂、水仙花、

○上總ノ最高山及川流ヲ問フ



鹿野山、大瀧川、養老川、小櫃川、

同國ノ都邑及岬角ヲ問フ

木更津、富津、洲、大東崎、

同國著名ノ産物ヲ舉グ

鱈、鯛、紅花、茶、

○下總ノ原野ヲ問フ

小金原、六方野、

同國ノ川及湖ヲ舉グ

利根川、絹川、印旛沼、手賀沼、

同國ノ都邑ヲ舉グ

銚子、佐倉、千葉、古河、結城、

同國主眼ナル物産ヲ舉グ

佐倉炭、結城紬、銚子縮、

○常陸ノ高山及河湖ヲ舉グ

筑波山、八溝山、那珂川、久慈川、霞浦、

同國ノ都邑ヲ舉グ

水戸、那珂港、土浦、

○同國物産ノ主ナル者ヲ舉グ

木綿、烟草、紙類、

○東山道

○近江ノ高山及大湖ヲ舉グ

伊吹山、比良峯、琵琶湖、



同國ノ都邑ヲ舉ヨ

彦根、大津、長濱、

同國産物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

野洲晒、信樂茶、長濱縮緬、伊吹艾、

○美濃ノ大岳及原野ヲ舉ヨ

惠那岳、大日岳、不破野、各務野、大野、

同國著名ノ瀑布及大河ヲ舉ヨ

養老瀧、木曾川、長良川、揖斐川、

同國繁盛ナル都邑ヲ舉ヨ

岐阜、大垣、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

美濃紙、水晶、白柿、養老酒、

○飛驒ノ最高峯及都會ノ地ヲ問フ

乘鞍岳、高山、

同國産物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

礦物、獸類、木材、

○信濃ノ山岳ヲ舉ヨ

御岳、駒ヶ岳、戸隠山、黒姫山、

同國著名ノ湖及河ヲ舉ヨ

諏訪湖、千曲川、犀川、木曾川、天龍川、

同國看月ノ勝地ヲ問フ

姨捨山、田毎月、



同國繁盛ノ都邑ヲ舉ヨ

松本、善光寺、松代、上田、

信州著名ノ噴火山ヲ問フ

同國産物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

材木、礦物、獸類、蕎麥、絹紬、

○上野ノ高山ヲ舉ヨ

榛名山、妙義山、赤城山、

同國著名ノ温泉ヲ舉ヨ

草津、伊香保、

同國ノ繁盛ナル都邑ヲ舉ヨ

高崎、前橋、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

蠶種、生絲、絹紬、桐生織物、

○下野ノ山岳及廣野ヲ舉ヨ

日光山、那須岳、庚申山、那須野、

同國ノ大河及湖ヲ問フ

同國ノ瀑布ノ有名ナル者ヲ舉ヨ

華嚴、裏見、義隆、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

宇津宮、榎木、日光、



同國著キ産物ヲ舉ヨ

足尾銅、日光蠟石、真岡木綿、足利絹、

○磐城、西北隅ナル大岳ヲ舉ヨ

地岳、藏王岳、

同國都邑ノ名アル者ヲ舉ヨ

白河、白石、平、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

石炭、經節、紙、

○岩代ノ高山ヲ舉ヨ

二本松岳、吾妻岳、磐梯山、

同國ノ河及湖ヲ問フ

阿武隈川、只見川、猪苗代湖、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

福島、若松、二本松、

同國有名ノ産物ヲ舉ヨ

蠶種、生絲、半田銀、蠟燭、漆器、

○陸前ノ山岳大川及半嶋ヲ舉ヨ

栗駒岳、北上川、牡鹿半島、

同國有名ノ島嶼及良港ヲ問フ

金華山、松島、石巻、

同國ノ産物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

馬、埋木、銅鐵、



○陸中ノ高峯及大河ヲ問フ

早池峯、御駒岳、岩手山、北上川、

同國都邑ノ繁盛ナル者ヲ舉ヨ

盛岡、一關、水澤、

同國沿岸ノ良港ヲ舉ヨ

宮古港、釜石港、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

牛馬、生絲、南部、鐵瓶、

○陸奥ノ高山及大川ヲ舉ヨ

岩木山、八甲田山、恐山、岩木川、

同國ノ半嶋及岬角ヲ舉ヨ

斗南半島、大間崎、尻矢崎、龍飛崎、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

青森、弘前、八戸、三廐港、

同國産物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

諸鑛物、牛馬、塗物、

○羽前ノ高山及大川ヲ舉ヨ

月山、湯殿山、羽黒山、最上川、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

鶴岡、米澤、山形、

同國産物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

生絲、鑛物、煙草、蠟、



○羽後ノ最高山及兩大川ヲ問フ

鳥海山、御物川、能代川、

同國ノ都邑及湖沼ヲ舉ヨ

秋田、酒田、能代、八郎潟、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

絹紬、能代漆器、秋田蕨、

○北陸道

○若狹ノ港灣及湖ヲ問フ

小濱港、青戸灣、三方湖、

同國有名ナル産物ヲ舉ヨ

塗物、魚類、

○越前ノ高山ヲ舉ヨ

○荒島岳、丈鏡岳、經岳、木芽嶺、

同國大川ヲ舉ヨ

日野川、足羽川、九頭龍川、

同國繁盛ナル都邑ヲ舉ヨ

福井、敦賀、坂井、大野、

同國著名ノ産物ヲ舉ヨ

紙類、紬、蚊帳、

○加賀ノ高山及大川ヲ問フ

白山、手取川、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ



金澤、小松、大聖寺、金石港、

同國ノ主眼ナル物産ヲ舉ヨ

小松絹、九谷焼、管笠、鑛物、

○能登ノ岬角及島名ヲ問フ

珠洲岬、能登嶋、

同國ノ名邑ヲ舉ヨ

七尾、輪嶋、福浦、

同國ノ物産ヲ舉ヨ

漆器、鹽、海苔、

○越中ノ高山ヲ舉ヨ

立山、劔岳、大門岳、礪波山、

同國ノ大川ヲ舉ヨ

神通川、射水川、黒部川、

同國ノ三大邑ヲ舉ヨ

富山、高岡、魚津、

同國ノ主ナル物産ヲ舉ヨ

鉄器、五郎丸布、藥劑、

○越後ノ高山ヲ舉ヨ

焼山、妙高山、守門岳、米山、御神樂岳、

飯豊山、

同國川流ノ大ナル者ヲ舉ヨ

信濃川、阿賀川、荒川、魚沼川、



同國屈指ノ都邑ヲ舉ヨ

新潟、高田、長岡、三條、新發田、村上、

同國海港ノ地ヲ舉ヨ

出雲崎、柏崎、寺泊、直江津、

越後ノ上中下ハ何處ヨリ區別スルヤ

米山以西ヲ上越後トシ彌彦以東ヲ下越後トシ兩

山ノ間ヲ中越後トス

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

小千谷縮、石炭、石腦油、鑛物、

○佐渡ノ港及山ヲ間フ

夷港、金北山、

同國ノ都邑ヲ間フ

相川、小木、

同國主眼ノ產物ヲ舉ヨ

金銀、魚類、海草、

○山陰道

○丹波ノ高山及大河ヲ舉ヨ

知井山、鬼ヶ城山、大江山、福知川、

同國都邑ノ稍繁華ナル者ヲ舉ヨ

龜岡、篠山、福知山、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

烟草、墨表、砥石、



○丹後第一ノ高峯及最大川ヲ問フ

足占山、由良川、

同國ノ海灣及山岳ヲ舉ヨ

舞鶴灣、與謝ノ海、千丈岳、由良岳、

同國ノ都邑及勝地ヲ問フ

舞鶴、宮津、天ノ橋立、

同國ノ主ナル產物ヲ舉ヨ

縮緬、紬縞、鱒、

○但馬ノ山岳及川流ノ大ナル者ヲ舉ヨ

氷ノ山、朝來山、來日岳、城崎川、

同國ノ銀山及温泉ノ著名ナル者ヲ舉ヨ

生野ノ銀山、湯島ノ温泉、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

出石、豐岡、

同國產物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

金銀、陶器、柳行李、

○因幡ノ大岳及巨川ヲ問フ

菅ノ山、因幡山、鷲峯山、千代川、

同國ノ都邑及大湖ヲ問フ

鳥取、湖山、湖、

同國產物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

白珊瑚、紙、

○伯耆ノ三大山ヲ舉ヨ

大山、船上ノ山、美徳山、



同國ノ大川ヲ舉ヨ

○日向野川、夫神州

同國繁盛ナル都邑及要港ヲ問フ

同米子、境ノ港、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

鐵、鋼、木綿、石材、

○出雲ノ高山及大川ヲ舉ヨ

天狗山、三郡山、簸ノ川、

同國ノ湖及半島ヲ問フ

宍道湖、嶋根半島、

同國ノ主ナル都邑ヲ舉ヨ

松江、杵築、

同國物産ノ著名ナル者ヲ舉ヨ

銅鐵、蜜柑、人參、

○石見ノ高山及大川ヲ問フ

三瓶山、郷ノ川、高津川、

同國ノ都會ヲ舉ヨ

濱田、津和野、

同國産物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

銀銅、紙、蠟、無名異、

○隱岐ハ何嶋ヨリ成レルヤ

大島、西島、中島、知夫里島、以上四嶋



同國ノ二港ヲ舉ヨ

西郷港、知夫里港

同國產物ノ主ナル者ヲ問フ

木材、魚介アルノミ

○山陽道

○播磨ノ大山及巨川ヲ舉ヨ

書寫山、加古川、市川、揖保川、

同國繁盛ナル都邑ヲ舉ヨ

姫路、明石、赤穂、室津、

同國產物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

姫路革、赤穂鹽、明石縮、

○美作ノ都邑及川流ヲ舉ヨ

津山、高田、津山川、高田川、

同國產物ノ名アル者ヲ舉ヨ

銅鐵、硯石、雲齋織、

○備前ノ半島及二大河ヲ舉ヨ

兒島ノ半島、吉井川、旭川、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

岡山、牛窓、

同國產物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

蠟石、陶器、刀劍、

○備中ノ高山及大川ヲ舉ヨ



赤瀧山、遙照山、河邊川、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

高粱、笠岡、倉敷、

同國産物ノ著名ナル者ヲ舉ヨ

銅鐵、木綿、壘表、

○備後ノ高嶺及大河ヲ舉ヨ

御神山、天神山、三次川、蘆田川、

同國ノ都邑ノ屈指ナル者ヲ舉ヨ

福山、尾道、鞆津、三原、

同國屬島ノ最大ナル者ヲ問フ

院島

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

壘表、花苳、鏡、

○安藝ノ大川及都邑ヲ舉ヨ

太田川、吉田川、廣嶋、嚴嶋、

同國屈指ノ島嶼ヲ舉ヨ

嚴島、能美島、倉橋島、大崎島、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

銅鐵、山繭紬、紙、牡蠣、

○周防ノ大川及都會ノ地ヲ舉ヨ

岩國川、山口、岩國、三田尻、

同國屬島ノ最大ナル者ヲ問フ



八代島、又大嶋トモ云

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

紙、縮布、煙草、

○長門ノ都邑ヲ舉ヨ

赤馬關、菘、

同國及豐前ノ間ナル海峽ヲ何ト云フヤ

早鞆海峽

同國物産ノ著シキ者ヲ舉ヨ

赤馬硯、烟草、陶器、

○南海道

○紀伊ノ高山及大川ヲ舉ヨ

大臺原山、八鬼山、大塔峯、高野山、

紀川、成川、

同國東南海ヲ何ト云ヤ且有名ノ瀑布ヲ問フ

熊野浦、那智ノ瀧、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

和歌山、新宮、田邊、

同國屈指ノ産物ヲ舉ヨ

蜜柑、紋羽、木材、

○淡路ノ名邑及産物ヲ舉ヨ

洲本、由良、陶器、

○阿波ノ高山及大川ヲ舉ヨ



雲邊山、 劔山、 吉野川、 那賀川、  
同國東北端ナル舟行危険ノ處ヲ問フ  
大鳴戸、 小鳴戸、

同國ノ都邑及物産ノ著名ナル者ヲ問フ  
德嶋、 藍、 砂糖、 鯉節、

○讚岐ノ高山及屬島ノ大ナル者ヲ舉グ

八栗山、 象頭山、 小豆島、 鹽飽島、

同國ノ都邑ヲ舉グ

高松、 志度、 丸龜、 多度津、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉グ

砂糖、 鹽、 木綿、

○伊豫ノ高山及大河ヲ舉グ

石鎚山、 瓶森山、 唐岩山、 篠山、 肱川、

同國ニ屬スル島嶼ノ大ナル者ヲ舉グ

大島、 伯方嶋、 大三島、

同國ノ温泉及岬角ヲ舉グ

道後ノ温泉、 箱崎、 佐多ノ三崎

同國ノ産物ヲ舉グ

銅、 石材、 砂糖、 紙、

同國ノ都邑ヲ舉グ

松山、 大洲、 宇和嶋、

○土佐ノ高岳及巨川ヲ舉グ



野根山、矢筈山、仁澱川、渡川、

同國ノ兩岬角ヲ舉ヨ

室戸崎、蹉跎岬、

同國第一ノ都邑ヲ問フ

高知

同國屈指ノ産物ヲ舉ヨ

鯉節、紙、石炭、砂糖、

○西海道

○筑前北方ノ洋ヲ問フ

響灘、玄界灘、

同國山川ノ大ナル者ヲ舉ヨ

寶滿山、遠賀川、

同國ノ都會ヲ問フ

福岡、博多、宰府、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

博多織、木綿絞、陶器、

○筑後ノ大山及巨川ヲ舉ヨ

御前岳、高良山、筑後川、矢部川、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

久留米、柳川、

同國ノ物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

木綿絞、蠟燭、紙、油、



○豊前ノ最大山及川流ヲ問フ

彦山、驛館川、

同國北端ノ一岬ヲ問フ

門司カ關

同國繁盛ナル都邑ヲ舉ヨ

小倉、中津、

同國ノ主ナル産物ヲ舉ヨ

小倉織、門司硯、生蠟、

○豊後國中ノ高岳及巨川ヲ舉ヨ

由布岳、鶴見岳、白瀧川、

同國ノ岬角及都邑ノ名アル者ヲ舉ヨ

佐賀關、府内、臼杵、岡、

同國産物ノ著名ナル者ヲ舉ヨ

七嶋筵、紙、生蠟、豊後絞、

○肥前ノ高山及海灣ヲ舉ヨ

多良岳、温泉岳、伊萬里灣、彼杵入江、

同國ニ屬スル五島ヲ舉ヨ

中通島、宇久島、奈留島、久賀島、福江嶋、

同國ノ繁華ナル都邑ヲ舉ヨ

長崎、佐賀、大村、島原、

同國著名ナル産物ヲ舉ヨ

有田陶器、錫、煙草、蠟燭、



○肥後ノ噴火山及河流ノ大ナル者ヲ舉ヨ

阿蘇山、球摩川、

同國屬島ノ最大ナル者ヲ問フ

天草二大嶋

同國都邑ノ主ナル者ヲ舉ヨ

熊本、八代、人吉、

同國物産ノ著シキ者ヲ舉ヨ

米、琉黃、蠟、石炭、砂糖、

○日向ノ大岳ヲ舉ヨ

裏島山、法華岳、祖母岳、

同國ノ大川及南端ノ岬ヲ問フ

赤江川、都井岬、

同國都邑ノ主ナル者ヲ舉ヨ

宮崎、都城、高鍋、延岡、

同國有名ノ産物ヲ舉ヨ

日向半切、蠟、砂糖、木材、

○大隅ノ山岳及岬角ヲ問フ

國見岳、高隈山、佐多岬、

同國南海ノ二大嶋ヲ舉ヨ

種子島、屋久島、

同國ノ都邑及嶋ヲ問フ

國府、加治木、櫻嶋、



同國產物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

煙草、砂糖、硫黃、

○薩摩ノ高峯及大川ヲ舉ヨ

紫尾山、開門岳、川内川、

同國ノ岬角及島嶼ノ大ナル者ヲ舉ヨ

野間岬、開門崎、甌島、長嶋、

同國都邑ノ著シキ者ヲ舉ヨ

鹿兒嶋、坊津、山川津、

同國產物ノ有名ナル者ヲ舉ヨ

薩摩繻、陶器、煙草、燒酎、甘薯、硫黃、

○壹岐ノ都邑ヲ問フ

勝本

○對馬ハ何大嶋ヨリ成ルヤ且其都邑如何

二大島ヨリ成ル 嚴原

壹岐、對馬ノ物産ヲ舉ヨ

鯨、雲丹、海藻、

○琉球諸島ヲ大別セヨ

大島、沖繩嶋、先嶋、

沖繩島ノ區別如何

中頭、國頭、嶋尻、

琉球ノ都邑ヲ舉ヨ

首里、那覇、運天港、



同五岳ヲ舉ヨ

辨岳、八頭岳、恩納岳、名護岳、佳楚岳、

同物産ノ著名ナル者ヲ舉ヨ

細上布、泡盛酒、芭蕉布、甘薯、瑤瑁、

○北海道

○渡島ノ高山及岬角ヲ舉ヨ

駒岳、又内浦岳ト云、惠山崎、白神崎、

同國ノ三大港ヲ舉ヨ

箱館、福山、江刺、

○後志ノ山及川ノ大ナル者ヲ舉ヨ

與市岳、後志川、

同國ノ岬及島ノ著シキ者ヲ問フ

御神崎、奥尻島、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

小樽内、岩内、

○石狩ノ大岳及巨川ヲ舉ヨ

石狩岳、夕張岳、石狩川、雨龍川、空知川、

同國屈指ノ都邑ヲ舉ヨ

札幌、石狩、

○天鹽ノ山川及都邑ノ大ナル者ヲ舉ヨ

天鹽岳、天鹽川、留萌、



○北見ノ高岳及大川ヲ問フ

千登蟹牛岳、網走川、

同國ノ名邑及岬角ヲ舉ヨ

宗谷、知床崎、紗縫崎、

同國ニ屬スル二島ヲ舉ヨ

禮文嶋、利尻嶋、

○膽振ノ高山ヲ舉ヨ

後方羊蹄山、蟹寒岳、樽前岳、白岳、

同國ノ都邑及岬角ヲ舉ヨ

室蘭岳、有珠、勇拂、江巴岬、

○日高ノ都邑及岬角ヲ問フ

様似、浦河、幌泉、襟裳岳、

○十勝ノ山川及都邑ノ大ナル者ヲ問フ

十勝岳、十勝川、年別川、廣尾、

○釧路ノ山岳ヲ舉ヨ

阿寒岳、黎蘼岳、摩周岳、西別岳、

同國ノ大河及著名ノ瀑布ヲ問フ

阿寒川、久摺川、阿寒ノ瀧、

同國ノ都邑及湖水ヲ舉ヨ

厚岸、釧路、阿寒湖、釧路湖、

○根室ノ大川及名邑ヲ舉ヨ

西別川、根室、野付、



同國ノ岬及島嶼ノ大ナル者ヲ舉ヨ

納沙布崎、醜丹島、

○千嶋ノ二大嶋ヲ舉ヨ

國後島、擇捉嶋、

千島有名ノ瀑布及港ヲ舉ヨ

樂奇別、泊、振別、

北海道中珍奇ノ産物ヲ舉ヨ

○得撫島ノ獵虎、内浦ノ臘臍、

醜丹嶋ノ黑狐、及積丹竹、等ナリ

日本歴史問題

神代

神世七代ノ名ヲ舉ヨ

磯馭盧島ノ成レル狀ヲ記セヨ

素戔嗚尊ノ勇悍ナル所爲如何

天照太神三種ノ神寶ヲ瓊々杵尊ニ賜ヒシ時如何ナル

勅語アリシヤ

皇孫降臨ノ地ハ何處ソ

彦波瀲武鸕鷀草葺不合尊ノ名稱ノ起原ヲ問フ

神武天皇

神武帝日向ヨリ東征ノ議ヲ略記セヨ



長髓彦ハ誰ヲ奉シ主トセシヤ且其誅ニ伏セシ顛末如何

神武帝ノ都ヲ奠メシハ何處ソ

綏靖天皇

手研耳命ノ謀逆及結局

崇神天皇

神器ヲ笠縫ノ邑ニ遷安セシハ何ノ代ナルヤ且何ノ故ナルヤ

四道將軍ヲ置キシハ何ノ代ナルヤ且其姓名ヲ舉ヨ

崇神帝ハ何ヲ以テ御肇國天皇ノ稱アリシヤ

垂仁天皇

狹穗彦ノ謀反及伏誅ノ大略ヲ記セヨ  
本朝相樸ノ始ヲ問フ

天照太神ノ祠ヲ伊勢ニ遷セシハ何ノ代ナルヤ  
始テ殉死ヲ禁セシハ何ニ因ルヤ且何ノ代ナルヤ

景行天皇

景行帝熊襲ヲ親征セシ概略

日本武尊ノ熊襲ヲ征セシ顛末

東隧ヲ吾嬬國ト號スルハ何ニ始ルヤ

白鳥ノ三陵ヲ舉ヨ

大臣ヲ置キシ始メヲ問フ

成務天皇



成務帝ノ儲嗣ト爲リシハ何ニ因ルヤ  
成務帝ノ國郡ノ區畫ヲ記セヨ

仲哀天皇

大連ヲ置キシ始メテ問フ

神功皇后新羅ヲ征スルノ議如何

新羅王出降セシ時何事ヲ誓約セシヤ

應神天皇

麿坂忍熊二王ノ兵ヲ舉ケシ顛末

甘美内宿禰ハ武内宿禰ヲ讒スルニ何等ノ語ヲ以テセ

シヤ且其結局如何

本朝文教ノ興ル所以ヲ記セヨ

使ヲ吳ニ遣シ織縫女ヲ求メシハ何ノ代ナルヤ

仁德天皇

仁德帝及稚郎子ノ禮讓如何

仁德帝難波宮ノ節儉ヲ問フ

茨田堤ヲ築キシ所以ヲ問フ

履中天皇

住吉仲皇子ノ謀反及伏誅ノ大略

姓氏ノ混亂ヲ改正セシ所以ヲ問フ

安康天皇

木梨輕皇子ノ淫虐如何

大草香皇子ノ殺サル、所以ヲ問フ



眉輪王ノ安康帝ヲ弑スル顛

雄略天皇

吉備田狹ノ反スル原因及結局

根使主ノ誅セラル、原因ヲ記セヨ

清寧天皇

星川王ノ反ヲ問フ

億計、弘計二王ノ難ヲ避ケテ民間ニ在リシ狀及國司之

ヲ上奏スル顛末

飯豐青皇女ノ政ヲ聽キシハ何ニ因ルヤ

顯宗天皇

顯宗帝父ヲ改葬セシ大略ヲ記セ

顯宗帝雄略帝ノ陵ヲ發カントセシ時之ヲ諫メシハ誰ナルヤ

武烈天皇

平羣真鳥及鮪ヲ誅セラル、何ニ因ルヤ

武烈帝ノ性行ヲ略記セヨ、

繼躰帝即位以前ハ何處ニ在リシヤ且帝ヲ迎立セシ大

略ヲ問フ

欽明天皇

膳臣巴提便高麗ニ在リテ勇壯ノ所爲如何

百濟佛像經論ヲ獻セシハ何代ニアルヤ

佛法始メテ來リシ時羣臣中ニ如何ナル論議アリシヤ



且其結局如何

本朝佛寺ノ始ヲ問フ

伊企儼新羅ノ爲ニ擒ハレテ屈セサリシ狀如何

敏達天皇

王辰爾敏智ノ所爲如何

百濟使者日羅ヲ殺セシ顛末如何

用明天皇

穴穗部皇子ノ淫逆ノ所爲如何

崇神天皇

厩戸皇子守屋ヲ誅セシ大略

馬子ノ弒逆ヲ行ヒシハ何ニ因ルヤ

推古天皇

始テ隋ニ通セシハ何ノ代ナルヤ且誰ヲ使者トセシヤ

女帝即位ノ始ヲ問フ

僧正僧都ヲ置キシハ何ニ因ルヤ且何ノ代ナルヤ

舒明天皇

舒明帝ノ立ツニ當テ如何ナル異議アリシヤ且其結末

如何

皇極天皇

皇極帝親雨ヲ祈リシ大略如何

蘇我入以ノ僭擬セシ數條ヲ舉ゴ

入鹿父子誅ニ伏セシ顛末



孝德天皇

中大兄皇子及輕皇子互ニ辭讓セシ結局  
年ニ號アル始メヲ問フ

孝德帝ノ制度ノ大綱ヲ舉ヨ

八省百官ヲ置キシハ何ノ代ナルヤ

石川鷹ノ讒殺セラレシ狀ヲ問フ

齊明天皇

阿陪比羅夫ノ蝦夷ヲ伐シハ何ノ代ナルヤ

有馬皇子謀反ノ大略ヲ記セヨ

天智天皇

越國ヨリ燃土燃水ヲ獻セシハ何ノ代ナルヤ

藤原鎌足ノ社稷ノ大功ヲ舉ヨ

漏刻ヲ置キシハ何ノ代ニシテ且誰ノ製ナルヤ

木丸殿ハ何處ニアリシヤ且其名ノ起原ヲ問フ

弘文天皇

大海人皇子ノ兵ヲ舉ケシ大略

壬申ノ亂ノ結局如何

天武天皇

悠紀順紀ノ制ハ何帝ニ始ルヤ

持統天皇

大津皇子ノ反ヲ問フ

卯杖ノ始ヲ記セヨ



持統帝儲ヲ議スルニ當テ葛野ノ奏言如何  
三輪高市麿何事ヲ諫メシヤ  
太上天皇ノ號ハ何帝ニ始ルヤ

文武天皇

役小角ノ流竄セラレシ所鹿ヲ問  
本朝火葬ノ始ハ如何

元明天皇

和銅ト改元セシハ何ニ因ルヤ  
古事記ハ誰ノ撰ナルヤ且何ノ代ナルヤ

元正天皇

養老ト改元セシハ何等ノ事ニ因ルヤ

藤原不比等ノ四子ヲ舉ヨ

聖武天皇

左大臣長屋王ニ死ヲ賜フハ何故ソ  
每國ニ國分寺ヲ置キシハ何代ニシテ何年ナルヤ  
藤原廣嗣ノ叛ハ何ニ因ルヤ且之ヲ討セシ大將ハ誰ソ  
聖武帝ノ佛法ヲ崇信セシ大略ヲ舉ヨ

孝謙天皇

孝謙帝東大寺ノ行幸ヲ略記セヨ  
大炊王ヲ立テ、太子トセシハ誰ノ所爲ナルヤ  
橘奈良麻呂ノ獄ニ下ル所以ヲ問フ

淳仁天皇



光明皇后佛ヲ好ミシ大略ヲ舉ヨ

淳仁帝太上皇下隙ヲ生セシハ何ニ因ルヤ

惠美押勝ノ反スル原因及之ヲ討セシ大將ハ誰ソ

淳仁帝ノ淡路ニ徙サレシ狀及其崩御ノ景況ヲ記セヨ

稱徳天皇

和氣清麿ヲ奏セシ神勅ヲ舉ヨ

光仁天皇

僧道鏡ハ何處ニ貶セラレシヤ

阿倍仲麻呂唐ニ仕ヘシ顛末

藤原百川山部親王ヲ援立セシ所爲如何

桓武天皇

神武以來ノ謚號ヲ定メシハ誰ソ且何ノ代ナルヤ

皇弟早良親王ノ廢サレシハ何ニ因ルヤ

平安城ハ何帝ノ定メシ都ナルヤ

和氣清麻呂ノ學藝德行ヲ舉ヨ

平城天皇

皇弟伊豫親王ノ幽殺セラレシハ何ニ因ルヤ

嵯峨天皇

藥子仲成ノ亂ヲ略記セヨ

賀茂齋ノ始メヲ問フ

淳和天皇

天台座主ヲ置キシ始メヲ問フ



藤原冬嗣德義ノ所爲ヲ舉ヨ  
親王ノ任國ヲ定メシハ何ノ代ナルヤ且其國ヲ舉ヨ  
良岑安世ノ名臣ト爲ルハ何ニ因ルヤ  
令義解ハ誰ノ作ル所ナルヤ

仁明天皇

小野篁ノ遣唐使ヲ辭セシハ何ニ因ルヤ且其貶謫セラ  
ル、所以ヲ問フ  
皇太子恆貞ノ廢セラレシハ何ニ因ルヤ

文德天皇

檀林皇后ノ佛ニ歸セシ大略  
小野篁ノ興セシ學校ハ何處ナルヤ

天子ノ冠禮ヲ修定セシハ誰ゾ

清和天皇

伴善男ノ流竄セラレシ顛末  
紀夏井讚岐守タリシ時如何  
藤原氏攝政ノ始メヲ問フ  
藤原保則ノ兩備ヲ治メシ狀ヲ略記セヨ  
貞觀ノ政ヲ問フ  
清和帝位ヲ遜レテ何事ヲ修セシヤ

陽和天皇

藤原保則ノ出羽ヲ蝦夷ヲ平ケシ計略如何  
藤原基經ノ廢立如何



陽成帝ノ位ヲ遜レシハ何ニ因ルヤ

光孝天皇

光孝帝ヲ迎立セシハ誰ソ

宇多天皇

始テ關白ヲ置キシハ何ノ代ナルヤ

宇多帝ノ嗣帝ヲ誠メシ語ヲ問フ

賢聖障子ハ如何シテ作りシヤ

醍醐天皇

三善清行革命ノ議ヲ略記セヨ

藤原時平ハ菅原道真ヲ譖スルニ何等ノ語ヲ以テセシ

ヤ

三善清行ノ意見封事ヲ條陳セヨ

延喜ノ政治ヲ問フ

朱雀天皇

天慶ノ亂ハ何ニ因テ起ルヤ

藤原純友ノ誅ニ伏セシ大略如何

村上天皇

菅原文時ノ條陳セシ三事ヲ舉ゴ

天徳ノ災ハ如何

村上帝ト老史ノ問答ヲ記セヨ

延喜及天曆ハ何ノ代ナルヤ

冷泉天皇



安和ノ變ハ何代ニアルヤ且其ノ概略ヲ記セヨ  
冷泉帝ハ何故ニ位ヲ禪リシヤ

圓融天皇

藤原在衡ノ恪勤如何

兼通兼家ト隙ヲ生セシ原因ヲ問フ

兼通最後ノ除日ヲ行フハ何カ故ゾ

花山天皇

花山帝直言ヲ求ムル詔ノ大意ヲ問フ

花山帝ノ位ヲ遜レシ顛末

一條天皇

僧齋然宋ニ適キ太宗ニ見ヘテ如何ナル問答アリシ

ヤ

藤原兼通ハ如何シテ兼明親王ノ政權ヲ奪ヒシヤ其結  
末如何

相家院ト稱スルハ誰ニ始ルヤ

女院ノ始ヲ問フ

七日關白トハ誰ナルヤ且其行狀如何

藤原道長ノ豪邁ナル所爲如何

一條帝ノ時ノ閨閣ノ秀ヲ舉ヨ

宸筆宣命ハ何ニ始ルヤ且何代ナルヤ

一條帝ノ人才ヲ舉ヨ

一條帝慈仁ニシテ民苦ヲ体セシ所爲如何



三條天皇

城子宮ニ入り后ニ冊セラシレ時如何  
三條天皇ノ位ヲ去リシハ何ニ因ルヤ

後一條天皇

皇太子敦明親王ノ位ヲ辭セシ顛末

源賴光ノ勇武ハ如何

藤原道長ノ專權及奢侈如何

平忠常ノ叛亂及伏誅ノ大略

後朱雀天皇

神鏡災ニ罹リテ銷亡セシハ何ノ代ナルヤ

後冷泉天皇

後冷泉帝ノ時尊仁ヲ立テ、儲貳トセント欲スルニ臨

テ賴通及能信ノ奏議如何

藤原實資剛直ニシテ貴權ニ阿ラサル所爲如何

安倍賴時ノ反ハ何ノ代ナルヤ且之ヲ討平セシハ誰ソ

安倍賴時再反ノ原因及伏誅ノ大略

前九年ノ役ヲ略記セヨ

後三條天皇

後三條帝ノ太子タリシ日賴通何ゾ壺切劔ヲ傳ヘサリ

シヤ

宣旨升ハ何帝ノ製ナル

後三條帝勵精節儉ノ二三條ヲ舉ヨ



白河天皇

白河帝大井川ノ行幸ヲ略記セヨ  
白河帝ノ院政ヲ問フ  
後三年ノ役ヲ略記セヨ

堀河天皇

源義家大江匡房ニ兵法ヲ學ヒシ大略  
義家奥羽ニ在リ戰士ヲ激勵スルニ何等ノ事ヲ以テセ  
シヤ  
法親王ヲ始テ問フ  
賴通白河上皇ノ親政ヲ擇ヒスシテ何等ノ語アリシヤ  
堀河帝ノ心ヲ政事ニ留メシ大要ヲ問フ

鳥羽天皇

鳥羽帝ノ崇徳帝ヲ慈セサリシハ何ニ因ルヤ  
源氏ノ大政大臣ニ任セラレシハ誰ヲ始トスルヤ  
鳥羽帝ノ容儀ヲ修セシ大略ヲ舉  
保元ノ亂ハ何ニ胚胎セシヤ  
鳥羽帝ノ院政ヲ問フ

崇徳天皇

平忠盛ノ膽勇如何  
崇徳帝ノ位ヲ去リシ顛末  
崇徳上皇讚岐ニ在リテ何ヲ事トセシヤ其結末如何  
近衛天皇



藤原忠通ノ頼長ト隙ヲ生セシ原因

後白河天皇

保元ノ亂ヲ起セシハ何帝ナルヤ且之ヲ賛成セシハ誰  
ゾ

後白河帝ノ院政如何

二條天皇

平治ノ亂ノ原因ヲ略記セヨ

藤原光頼ノ信頼ヲ面折セシ狀ヲ問フ

藤原信頼ノ誅ニ伏セシ顛末

源義朝敗走ノ結末

二代后ト名ル所以ヲ問フ

源頼朝虜レテ死ヲ免レシ所以ヲ記セヨ

後白河上皇二條帝ト協ハサリシハ何ニ因ルヤ

高倉天皇

源爲朝ノ大島ニ流サレシ顛末

源牛若ノ鞍馬ヨリ陸奥ニ赴キシ大略

藤原師光成親等鹿谷ニ會シ何ヲ謀リシヤ

平清盛ノ法皇ヲ幽スルハ何ニ因ルヤ

高倉帝ノ仁恕如何

安徳天皇

源頼政兵ヲ起セシ結局如何

清盛都ヲ福原ニ遷スハ何故ゾ



源賴朝石橋山ノ戰ヲ問フ  
 平維盛富士川ノ役ヲ略記セヨ  
 清盛兩都ノ利害ヲ議セシ時藤原長方ノ直言如何  
 平氏最盛ノ時ノ景況ヲ問フ  
 篠原ノ役實盛ノ戰死如何  
 藤原兼實京師ニ主ヲ立ルノ議ヲ舉ヨ  
 源義仲ノ暴横ノ舉動ヲ略記セヨ  
 源義仲戰死ノ狀如何  
 一谷ノ戰ヲ略記セヨ  
 義經梶原景時逆櫓ノ論ヲ問フ  
 壇浦ノ戰平氏敗滅ノ狀ヲ記セヨ

後鳥羽天皇

義經迫テ賴朝ヲ討スルノ院宣ヲ請フニ當リ藤原兼實  
 ノ議如何  
 靜鎌倉ニ至リ何等ノ事アリシヤ  
 源賴朝ノ藤原泰衡ヲ討平セシ顛末  
 僧西行ノ人ト爲リ如何  
 西行鎌倉ニ至リ賴朝ヲ見シ時如何ナル事アリシヤ  
 藤原忠光ノ執ハレシ狀如何  
 賴朝富士野ノ獵ニ何事アリシヤ  
 源範賴ノ殺サレシハ何ニ因ルヤ  
 後鳥羽帝ノ英武ノ所爲ヲ舉ヨ



土御門天皇

梶原景時ノ誅セラレシ顛末

源賴家比企能員ヲ召シ何ヲ謀リシヤ且其結局如何

鎌倉三代將軍ヲ舉ヨ

土御門帝ノ土佐ニ徙サレシ所以ヲ問フ

順德天皇

和田義盛ノ亂ハ何ニ因ルヤ

僧公曉ノ父讎ヲ報セシ顛末

仲恭天皇

承久ノ變ニ義時ノ處置如何

後堀河天皇

兩六波羅ノ始ヲ問フ

北條義時ノ沉勇如何

尼將軍トハ誰ヲ云ヤ

百人一首ハ誰ノ撰ナルヤ

四條天皇

僧圓爾ト菅原爲長ノ問答ヲ略記セヨ

後嵯峨天皇

北條泰時ノ後嵯峨帝ヲ立テシ大略如何

僧高辨ノ泰時ニ説キシ語如何

後深草龜山二帝ノ後迭ニ立ツノ策ヲ立テシハ誰ノ所

爲ナルヤ



後深草天皇

北條時賴ノ賴經ヲ逐ヒシハ何故ソ

北條時賴ノ儉薄如何

青砥藤綱ノ訟ヲ判セシ大略ヲ問フ

三浦泰村ノ誅セラレシ概略

龜山天皇

北條時賴解職ノ後心ヲ政事ニ用ヒシヲ如何

大將軍宗尊ノ逐レシ原因

後宇多天皇

筑紫ニ探題ヲ置キシ所以ヲ記セヨ

弘安ノ役ヲ略記セヨ

伏見天皇

大將軍惟康親王ノ北條貞時ニ逐レシハ何ニ因ルヤ

淺原爲賴ノ禁内ニ亂入セシ結局

兩統迭立十年ヲ限ルノ策ヲ定メシハ誰ゾ

後伏見天皇

伏見上皇ハ北條貞時ニ何事ヲ諭セシヤ

後伏見帝禪位ノ時五上皇アリト其名ヲ舉ゴ

花園天皇

北條貞時辭職ノ後遊歴シテ如何セシヤ

花園帝禪法ヲ好ミ僧ヲ師トセシ事ヲ問フ

後醍醐天皇



本邦ニ始テ程朱ノ說ヲ倡ヒシハ誰ゾ  
 無禮講ハ何等ノ會議ナルヤ  
 北條高時疾アリシ時長崎高資等如何ナル事ヲ謀リシ  
 ヤ  
 尊雲法親王ノ座主ニ補セラレシハ何ニ因ルヤ  
 二階堂貞藤ノ高時ヲ諫メシ事ハ何ゾ  
 後醍醐帝笠置山ノ行幸如何  
 後醍醐帝ヲ楠正成ヲ召見セシ大略如何  
 正成赤坂城ニ在テ如何ナル畫策アリシヤ  
 兒島高德ノ櫻樹ニ題セシ詩如何  
 赤坂城ノ陥リシ狀ヲ略記セヨ

後醍醐帝ノ隱岐ヲ發セシ顛末  
 新田義貞ノ義兵ヲ起シ鎌倉ヲ陷レシ大略及高時誅ニ  
 伏セシ狀如何  
 後醍醐帝巡狩還宮ノ儀如何  
 決斷所ヲ置キ何事ヲ司リシヤ  
 藤原藤房天馬ノ諫ヲ略記セヨ  
 護良親王ノ幽セラレシ原因  
 護良親王ヲ弑セラレシ狀ヲ問フ  
 新田義貞白旗城ヲ圍ミシ大略ヲ記セヨ  
 尊氏大舉シ東上スルニ當リ楠正成ノ戰略ヲ舉ゴ  
 楠正成戰死ノ狀ヲ記セヨ



楠正成其子正行ヲ誠メシ語ヲ問フ  
金崎城ノ陷リシ狀ヲ略記セヨ  
藤嶋ノ戰及新田義貞ノ戰死ヲ問フ

後村上天皇

四條瞭ノ戰及正行ノ和歌ヲ記セヨ  
土岐頼遠ノ亂暴如何  
高師直及師泰ノ幕府ヲ圍ミシハ何ニ因ルヤ  
足利直義歸順ヲ請フニ當リ廷議如何  
二高伏誅ノ大略  
源親房ノ神皇正統記ヲ著ハセシハ何ノ意ゾ  
畠山國清新田義興ヲ誘殺セシ顛末

畠山國清ノ餓死セシ所以ヲ問フ  
細川頼之ヲ義詮ニ薦メシハ誰ゾ且其ノ輔導ノ大略如何  
菊池武光勤王ノ舉ヲ略記セヨ  
後龜山天皇  
細川頼之ノ職ヲ罷メシハ何ニ因ルヤ  
南朝ノ帝號ヲ舉ヨ  
長慶天皇  
六分一氏ハ誰ナルヤ  
後小松天皇  
南北兩朝ハ何帝ニ至リテ一統ニ歸セシヤ



金閣寺ハ誰ノ創立ニシテ其ノ結構ノ大略

明ノ封冊ヲ受ケシハ誰ナルヤ

稱光天皇

鎌倉ノ兩上杉ヲ舉ヨ

義持ノ義嗣ヲ殺セシハ何ニ因ルヤ

赤松滿祐ノ兵ヲ稱ケシハ何故ナルヤ

義持明ノ通好ヲ辭セシ語ヲ略記セヨ

持氏ノ義教ト隙ヲ生ゼル原因

僧宗純ノ皇嗣ヲ定メシ大略ヲ記セヨ

後花園天皇

源義教一色義範ヲ殺セシ所以ヲ問フ

義教持氏ヲ攻ムルニ及ンテ上杉憲實ノ所爲如何

赤松滿祐ノ將軍義教ヲ弑セシ顛末

藤原有光ハ誰ヲ擁シテ兵ヲ起セシヤ其結局如何

持氏ノ季子永壽王成立ノ後如何

赤松氏ノ遺臣罪ヲ購ヒシ大略

將軍義政ノ靡麗ヲ窮メシ事ヲ舉ヨ

僧等揚ノ人ト爲リ如何

後土御門天皇

義政義尋ト如何ナル誓ヲ爲シヤ

義政ノ妻其子ヲ託セシ大略

應仁ノ亂ハ何ニ兆セシヤ



應仁ノ亂ノ東西ノ主將ヲ舉ゴ  
 僧一休ノ人ト爲リ如何  
 義政ノ銀閣寺ヲ築キシ概略  
 大田道灌ハ何等ノ術ニ精シキヤ且其殺サレシハ何ニ  
 因ルヤ  
 足利義熙ノ學藝如何  
 足利茶茶丸ノ父ヲ殺セシ原因  
 伊勢氏茂ノ敏捷ノ所爲如何  
 三浦義同ノ父ヲ殺セシハ何ニ因ルヤ  
 北條氏茂ノ大森實頼ヲ襲ヒシ策  
 後栢原天皇

大内義興ノ前將軍義植ヲ奉シ京師ニ入リシ顛末  
 武田信廣ノ蝦夷ニ疆土ヲ拓キシ原因  
 本願寺僧光兼ノ門跡ニ准セラレシハ何ニ因ルヤ  
 後奈良天皇  
 武田晴信海口城ヲ攻メシ策略  
 武田晴信ノ父ヲ逐ヒシ概略  
 本朝鳥銃ノ傳ハリシ始ヲ問フ  
 天主教ノ我國ニ入リシハ何ニ因ルヤ  
 北條氏康河越ヲ襲ヒシ戰ノ顛末  
 大内義隆ノ奢麗ヲ略記セヨ  
 陶晴賢ノ大内義隆ヲ弒セシ原因



長尾景虎ハ如何シテ上杉氏ヲ冒セシヤ  
毛利元就ノ陶晴賢ヲ討セシ方略如何

正親町天皇

木下秀吉ノ始テ織田氏ニ仕ヘシ概略  
桶峽ノ役ヲ略記セヨ

河中島戰ノ勝敗ノ大略如何

織田信長齋藤龍興ヲ削弱セシ計略如何

松永久秀ノ將軍義輝ヲ弑セシ概略

姊川ノ役ヲ略記セヨ

毛利元就ノ大志ヲ問フ

信長ノ叡山ヲ焚キシハ何ニ因ルヤ

三方原ノ戰勝敗ノ大略

武田信玄何事ヲ遺命セシヤ

上杉謙信ノ軍營ノ詩如何

長篠ノ戰ヲ略記セヨ

木下秀吉羽柴ト改姓セシ意如何

始テ天主閣ヲ起セシハ誰ゾ

織田毛利二氏ノ兵ヲ構ヘシハ何ニ因ルヤ

大友義鎮天主教ヲ好ミシ結末如何

明智光秀ノ丹波ヲ略取セシ狀如何

武田勝頼戰死ノ狀ヲ略記セヨ

明智光秀信長ヲ弑セシ原因



本能寺ノ亂ノ大略ヲ舉ヨ  
 秀吉光秀山崎ノ戰如何  
 織田信孝ノ秀吉ヲ討セシトセシハ何故ゾ  
 賤岳ノ戰ヲ略記セヨ  
 賤岳七槍ヲ舉ヨ  
 小牧山ノ役ノ大略ヲ問フ  
 長湫ノ戰ノ勝敗ヲ記セヨ  
 羽柴秀吉ノ關白トナル所以ヲ問フ  
 秀吉ノ置キシ五奉行ヲ舉ヨ  
 徳川臣僚ノ朝命ヲ受ケシ始ヲ問フ  
 後陽成天皇

秀吉島津義久ヲ征セシ顛末  
 聚樂第ノ盟約要目ヲ舉ヨ  
 秀吉北條氏政ヲ征伐セシ原因如何  
 小田原征討ノ役款ヲ秀吉ニ納レシハ誰ゾ  
 徳川家康ヲ關東八國ニ封セシハ誰ゾ且何帝ノ代ナル  
 ヤ  
 征韓ノ役ハ何ニ因ルヤ  
 秀吉ノ伊達政宗ノ封ヲ削リシ原因  
 豊臣秀吉職ヲ罷メ誰ヲ以テ關白トセシヤ且自ラ何ト  
 號セシヤ  
 秀吉嚴島祠ニ謁シ錢ヲ擲テ何ヲトセシヤ



征韓ノ役誰ヲ元帥トセシヤ且先鋒如何  
 征韓ノ役和議ヲ主トセシ者ヲ問フ  
 秀吉親征ヲ議セシ時淺野長政ノ激論如何  
 關白秀次ニ死ヲ賜ヒシ所以  
 秀吉頒布セシ新令六條ノ大略  
 沉惟敬封冊ヲ秀吉ニ進メシ結末  
 朝鮮再征ノ役明軍ノ總督ハ誰ゾ  
 蔚山ノ役ヲ略記セヨ  
 五大老三中老ヲ部署セシ大略  
 耳塚ノ起リヲ問フ  
 七隊長ノ姓名ヲ舉ゴ

石田三成ハ誰ト謀ヲ通シ德川家康ヲ討セシヤ  
 三成兵ヲ擧グルニ誰ヲ盟主トセシヤ  
 關ヶ原ノ役款ヲ東軍ニ送リシ西軍ノ將ヲ擧ゴ  
 荷蘭ノ始テ互市ヲ通セシハ何ノ代ナルヤ  
 德川家康本願寺ヲ建テシ所以ハ如何  
 家康朝鮮ト和議セシ意如何  
 秀康加増ヲ駿府ニ乞ヒシ結末  
 島津家久琉球ヲ擧ケシ顛末



明治十七年八月廿三日御届  
同 九月一日出版  
同 十二月二日再版御届  
同 十二月十三日出版

正價金貳拾八圓

編輯人 神奈川縣平民 水上泰健

新潟區學校町貳番町  
第廿四番地寄留

出版人 新潟縣平民 井筒駒吉

新潟區古町通貳番町  
第三十三番地

發兌人 同 目黒十郎  
長岡表四ノ町



大賣捌所

新潟區 東仲通	小林二郎
同 東堀通五番町	林 富吉
同 古町通六番町	片桐賢三
同 同 通七番町	佐藤庄八
同 本町通六番町	寺井巨平
同 西蒲原郡 曾根町	櫻井産作
同 卷 町	加藤藤七
同 地藏堂町	笛木又平
同 南蒲原郡 三條町	伊丹屋藤吉
同 同	樋口小左衛門
同 中蒲原郡 白根町	常盤屋時藏
	山井素功
	高橋半造

同 小須戸町	新保屋太吉
同 新津町	坂爪巖太
同 龜田町	五十嵐六平
同 五泉町	淺野六平
同 北蒲原郡 新發田町	水野禎三
同 葛塚町	大瀧 九右衛門
同 中條町	鳴屋七太郎
同 水原町	弦卷七十郎
同 岩船郡 村上町	村山長太郎
同	西村 六平
同	西村鐵治郎
同	森田紋吉郎
同	近江屋又四郎



古志郡長岡町

松田周平

同

上田屋治平

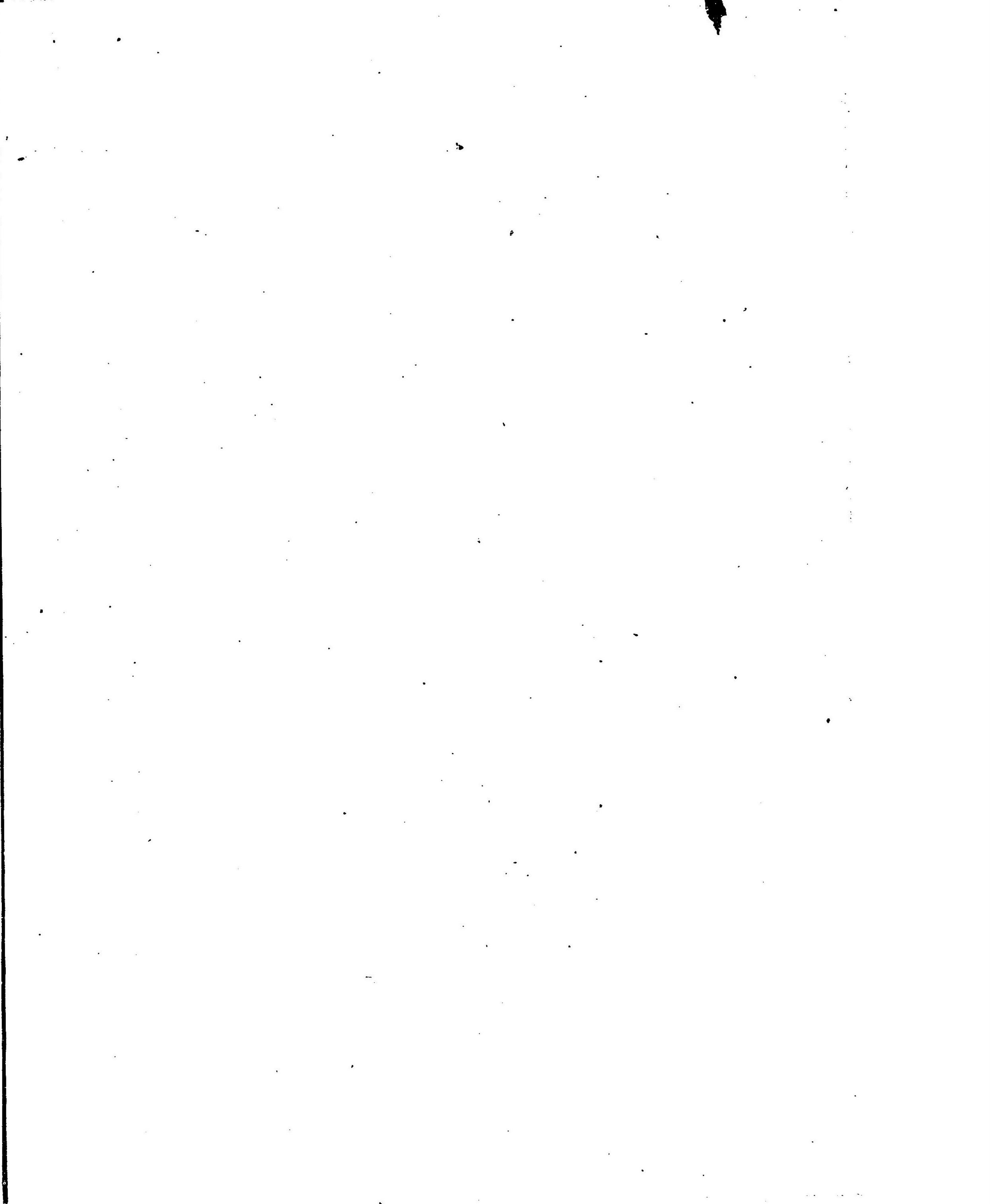
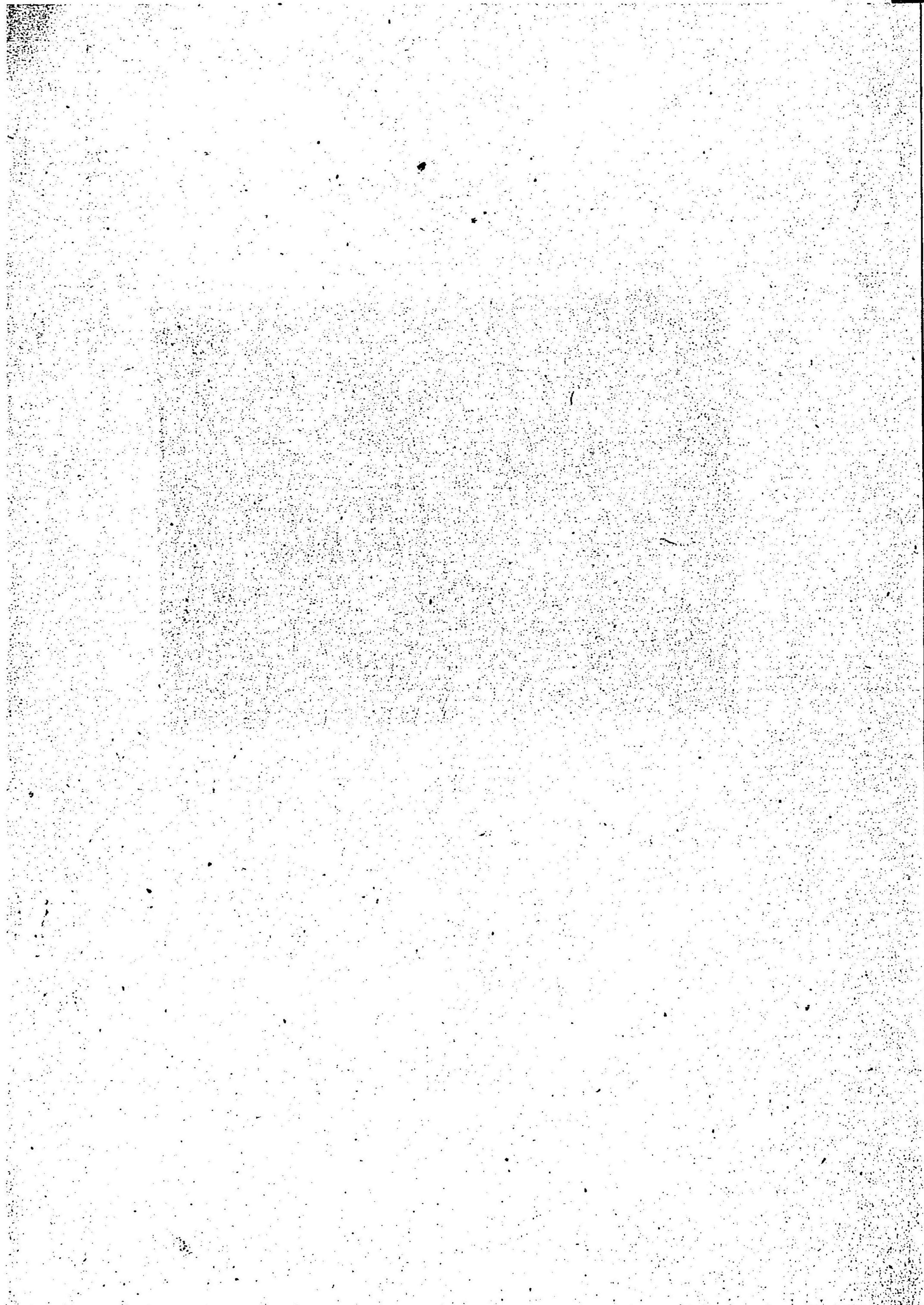
刈羽郡柏崎町

高桑小平

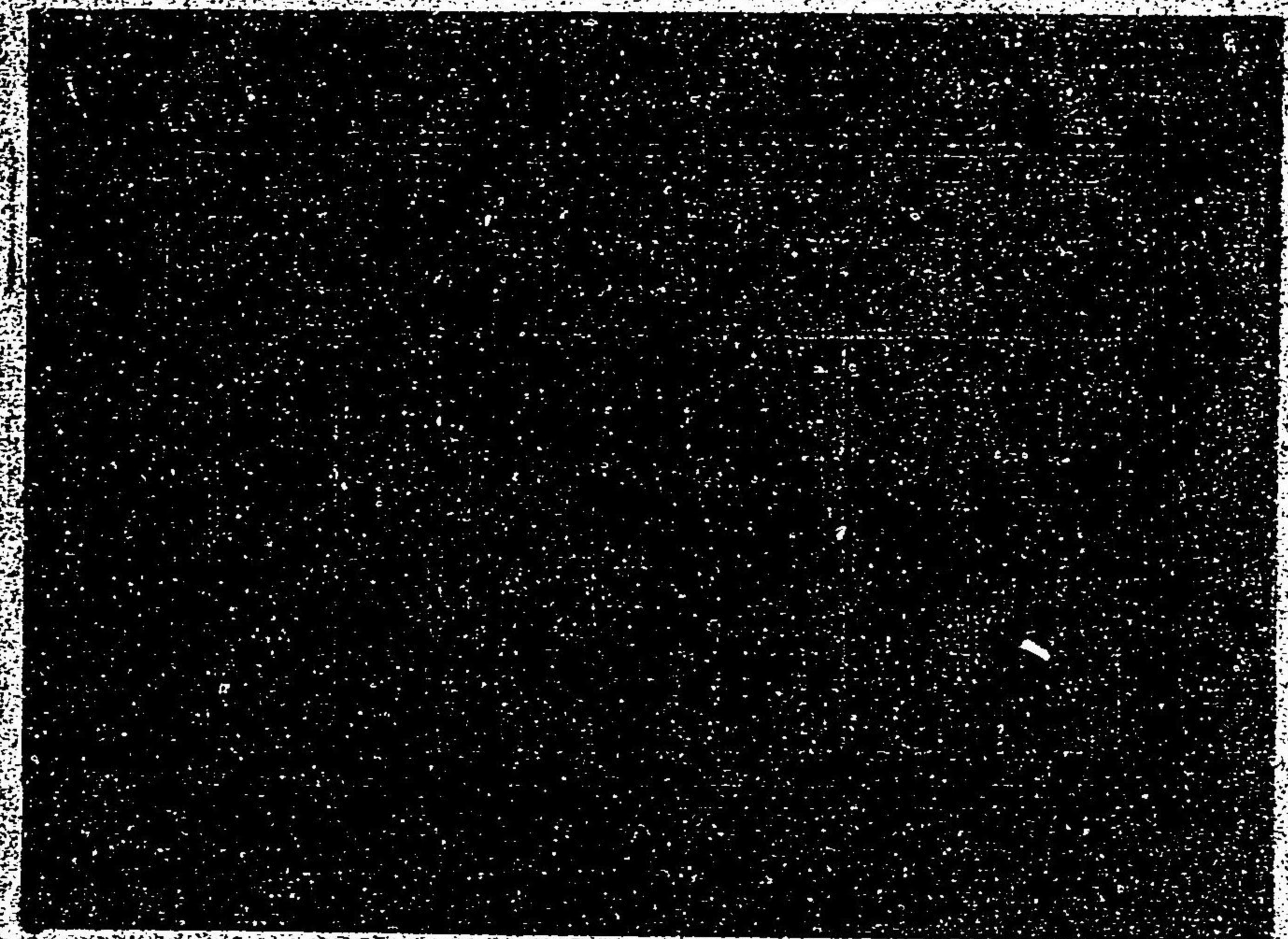
中頸城郡高田町

室直三郎

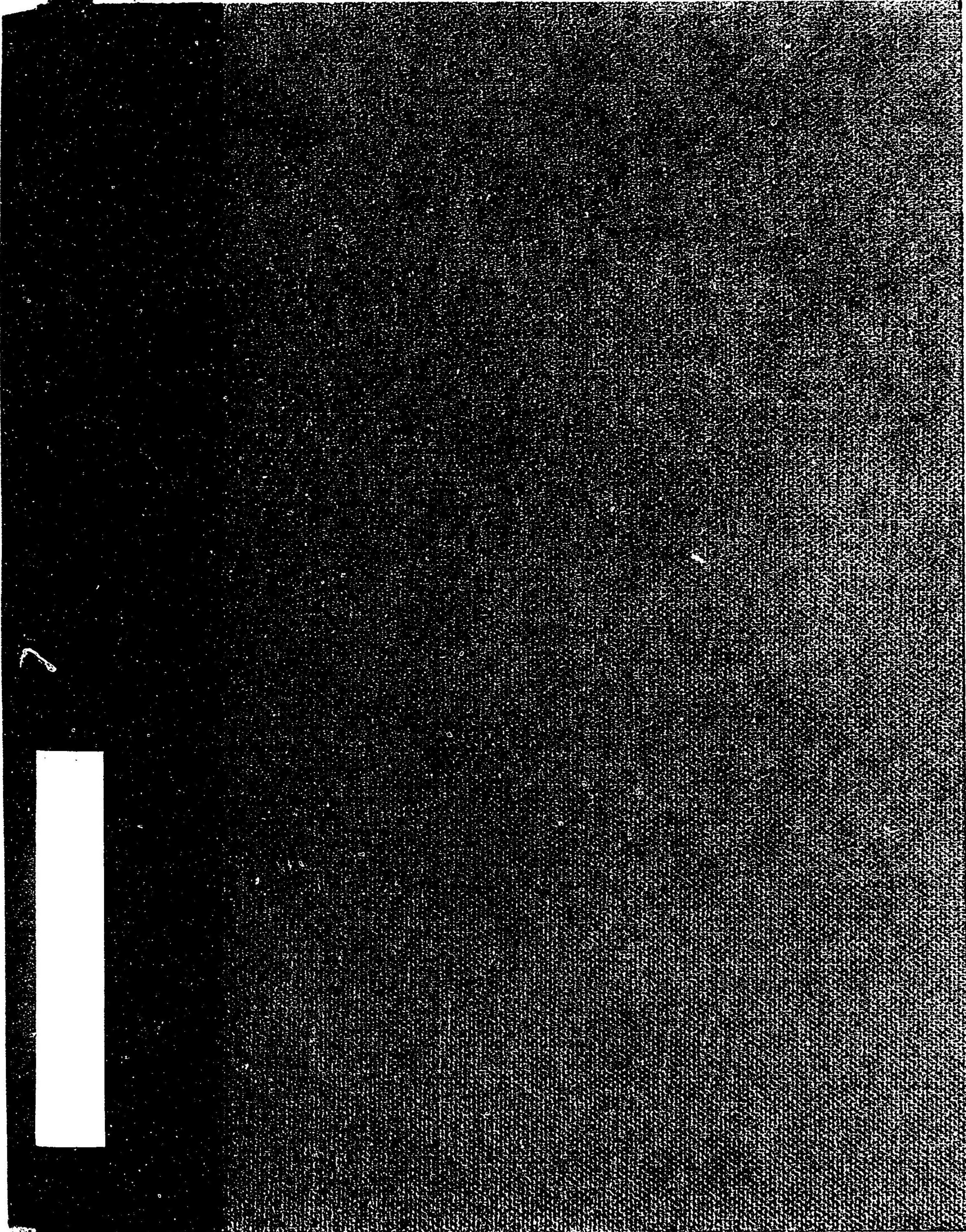












[A small, vertical white rectangular label or sticker is positioned on the left edge of the dark area, containing illegible text.]



特69

192

地理歴史試験問題集

国立国会図書館

203691-000-4

特69-192

地理歴史試験問題集

水上 泰健/編

M17

EDM-0238

